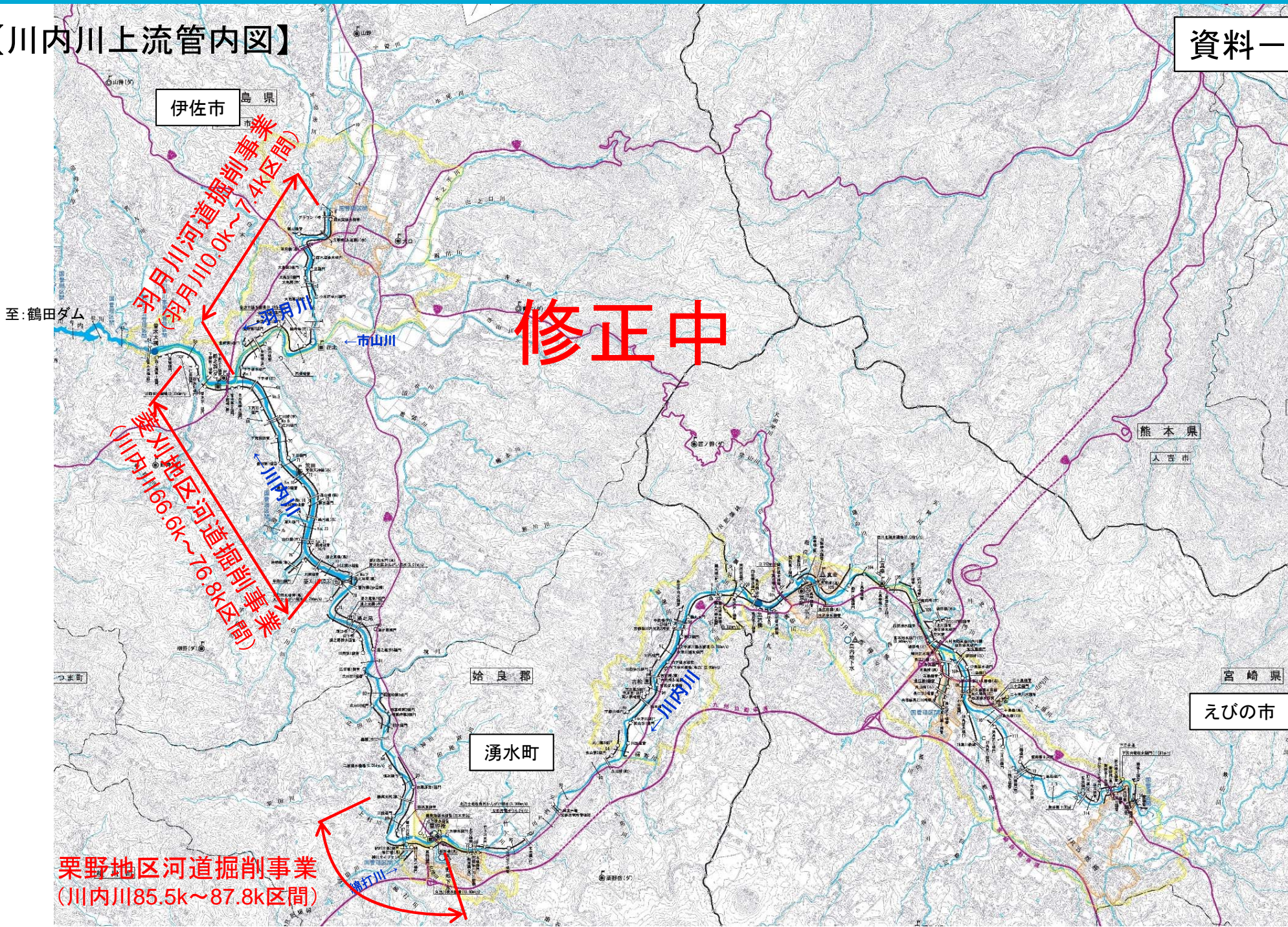


【川内川上流管内図】

資料-2-1



修正中

伊佐市

羽月川河道掘削事業  
(羽月川110.0k~117.4k区間)

養父地区河道掘削事業  
(川内川116.6k~126.8k区間)

栗野地区河道掘削事業  
(川内川85.5k~87.8k区間)

湧水町

始良郡

えびの市

宮崎県

熊本県

人吉市

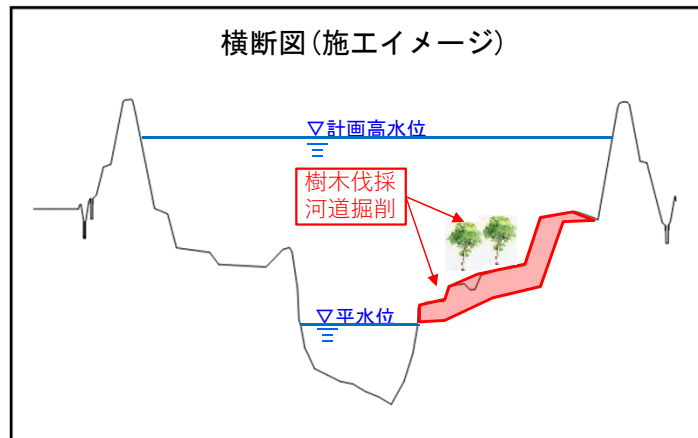
至: 鶴田ダム

# 羽月川河道掘削事業 の実施 <3か年緊急対策>

- 平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、緊急的に河道掘削・樹木伐採を実施し、早期に安全性の向上を図ることとしています。
- 川内川支流の羽月川では、洪水による浸水被害の軽減を図るため、平成28年度より河道掘削に着手しており、平成31年度も引き続き河道掘削・樹木伐採を実施し、治水安全度の向上を図ります。



羽月川河道掘削の施工状況 (H30年度)

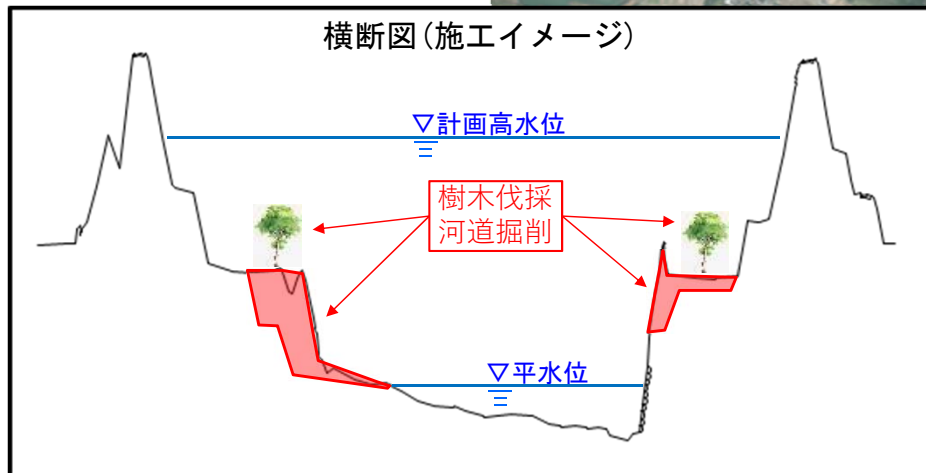


※掘削箇所は現時点の計画であり、詳細には実際の施工箇所と異なる場合があります。

※イメージであり、事業実施区間内の場所により掘削形状等は異なります。

# 菱刈地区河道掘削事業 の実施 <3か年緊急対策>

- 平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、緊急的に河道掘削・樹木伐採を実施し、早期に安全性の向上を図ることとしています。
- 川内川の伊佐市菱刈地区では、洪水による浸水被害の軽減を図るため、平成31年度より新たに河道掘削・樹木伐採を実施し、治水安全度の向上を図ります。

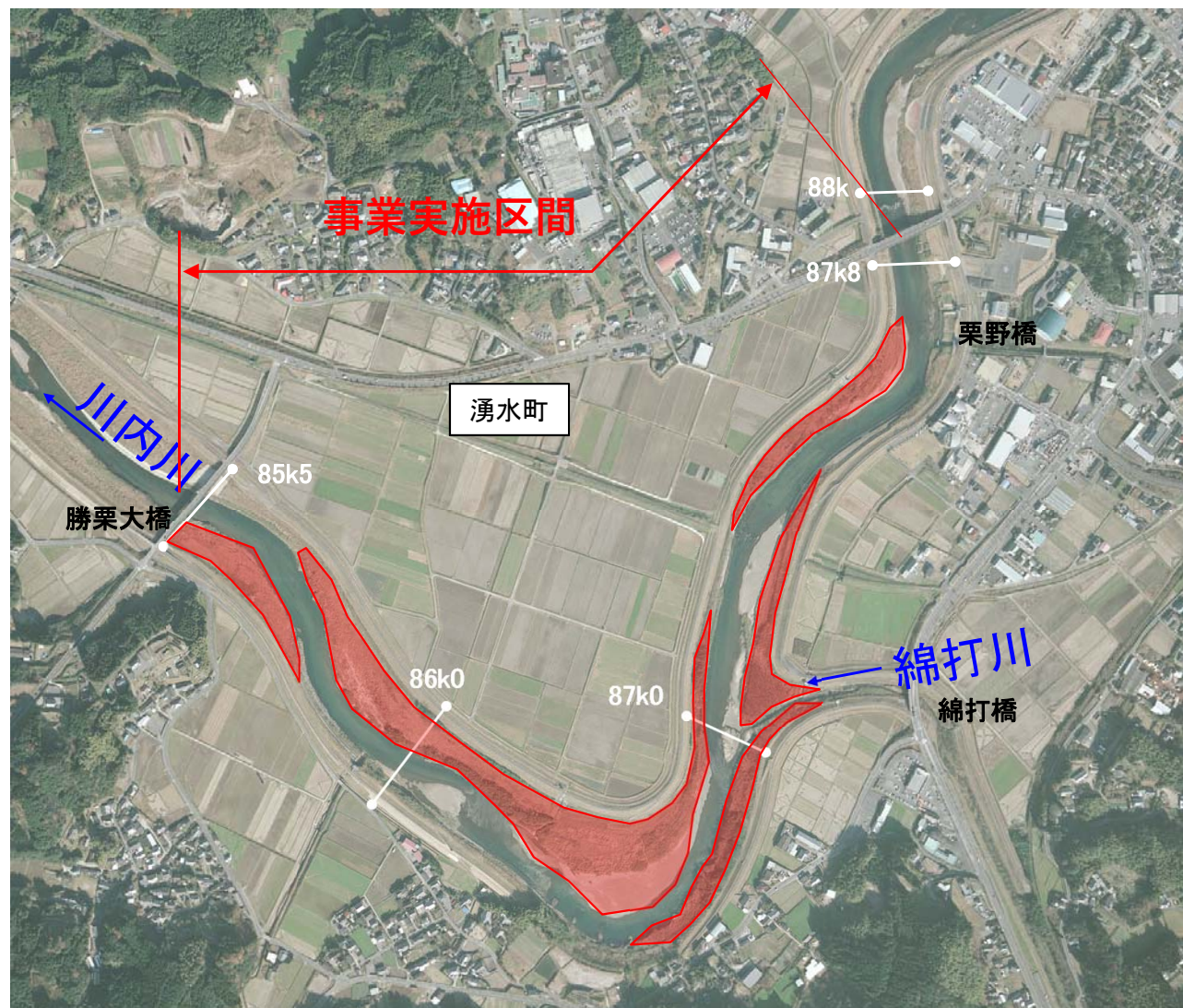
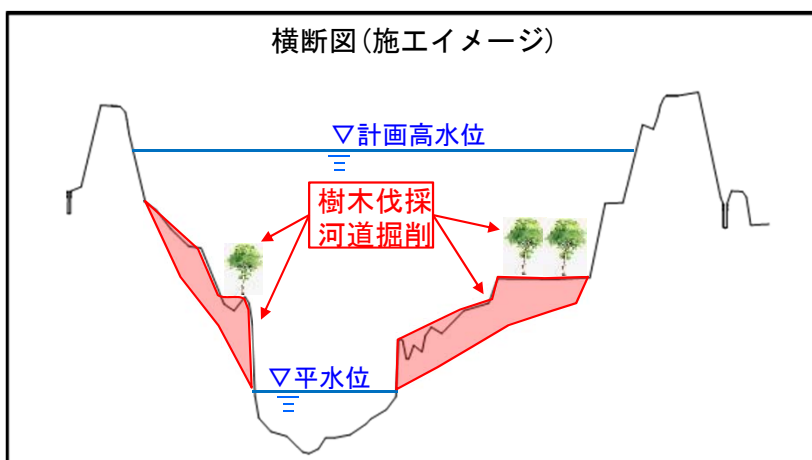


※掘削箇所は現時点の計画であり、詳細には実際の施工箇所と異なる場合があります。

※イメージであり、事業実施区間内の場所により掘削形状等は異なります。

# 栗野地区河道掘削事業 の実施 <3か年緊急対策>

- 平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、緊急的に河道掘削・樹木伐採を実施し、早期に安全性の向上を図ることとしています。
- 川内川の湧水町栗野地区では、洪水による浸水被害の軽減を図るため、平成31年度より新たに河道掘削・樹木伐採を実施し、治水安全度の向上を図ります。



※掘削箇所は現時点の計画であり、詳細には実際の施工箇所と異なる場合があります。

- ・箇所：川内川水系 5河川  
近年浸水実績がある箇所又は、浸水想定区域の家屋数が一定以上ある箇所又は、重要施設がある箇所
- ・期間：2020年度まで
- ・内容：樹木伐採、掘削等を行うことで、近年の主要洪水等に対して氾濫を防止



# 川内川管内図

資料-2-4

## 危機管理型水位計 全体位置図

### 危機管理型水位計とは

革新的河川技術(管理)プロジェクトにより開発した、洪水時の観測に特化した水位計です。洪水時の観測に特化すること、携帯通信網を利用すること、汎用部品を活用することにより、大幅にコストダウン・サイズダウンを図ったものです。5年間無給電(電池等で稼働)、メンテナンスフリーが標準仕様となっています。



### 危機管理型水位計運用協議会とは

水位計のデータを処理、配信、表示するシステムを共同で運用するために設立した協議会(国11機関、33道府県、11市町/平成30年5月18日現在)。

- ①共同運用により水位計の運用コストを大きく削減
- ②水位データを一括して見える化
- ③初めて水位計を設置する市町村への支援

協議会に参加すると、危機管理型水位計を低コストで効率的・効果的に運用することができます。



川内川管内設置箇所	
薩摩川内市	14箇所
さつま町	7箇所
伊佐市	11箇所
湧水町	11箇所
えびの市	7箇所
計	50箇所

凡例  
● 危機管理型水位計 設置位置

【危機管理型水位運用システムとの接続後の表示について】  
危機管理型水位運用システムと水位計との接続(開局通知)が完了すると、当該システムの画面上に観測所が表示されます。観測所が登録された場所は、薄い緑色で『都道府県』『市区町村』の領域が着色されます。

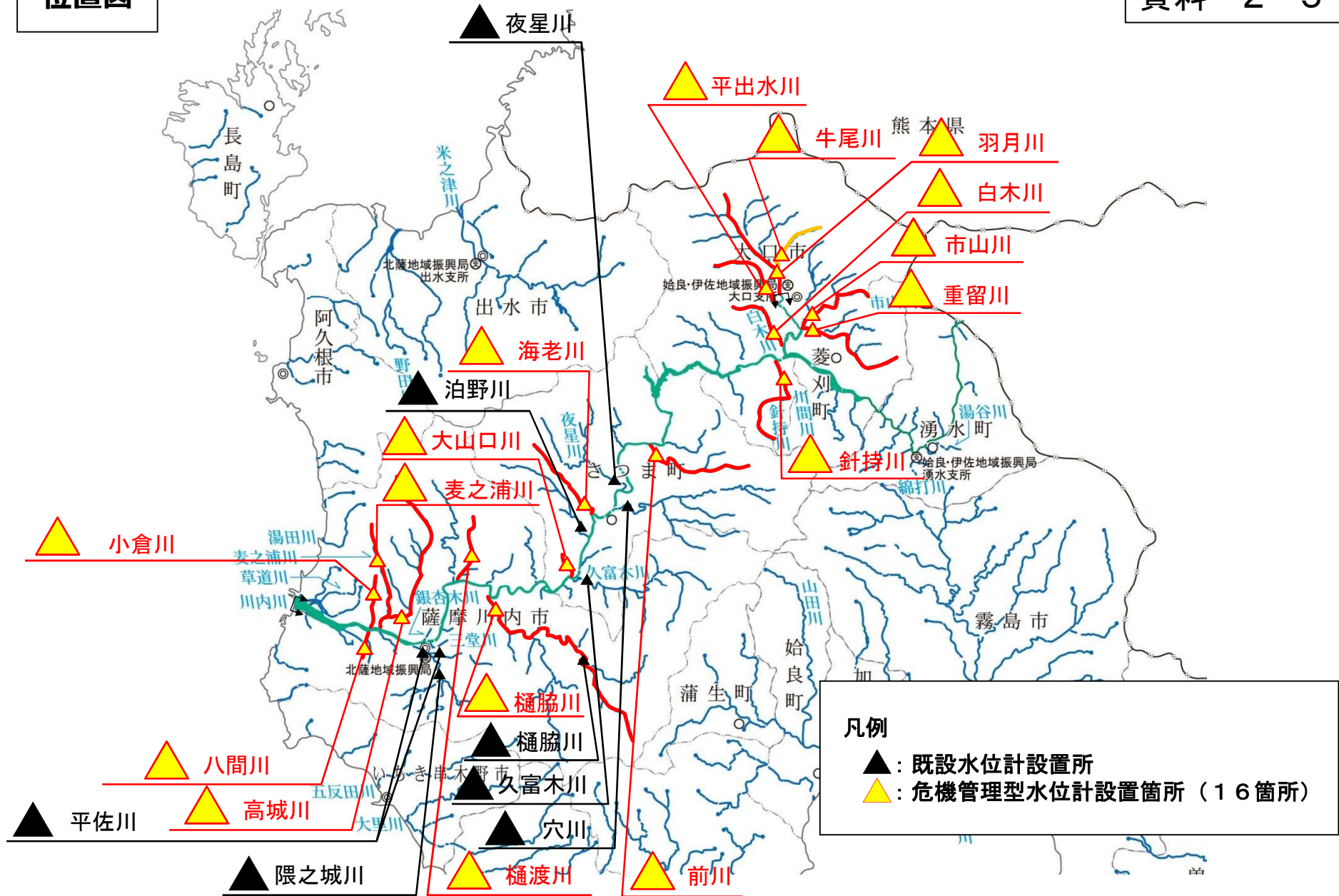


【サイトへのアクセス】  
<https://k.river.go.jp/> (6月1日からアクセスできます。)  
※5月中は、<https://202.214.100.53/>でも表示を確認できますが、テストサイトのため、断続的に切断されることがあります。また、夜の電子証明書を利用しているため、アクセス時にアラートが表示されることがあり、端末によっては、アクセスできない場合があります。

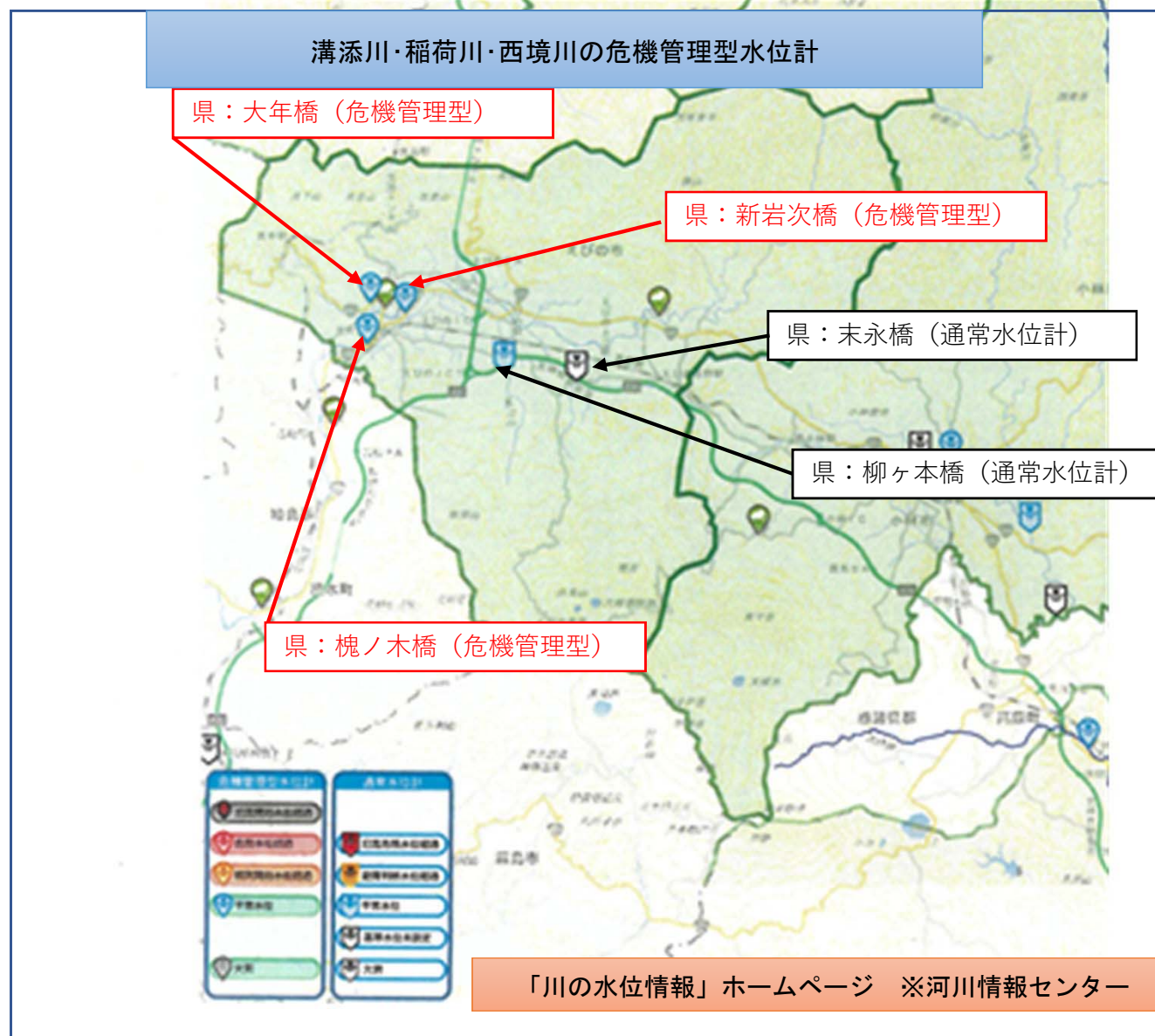
さらに拡大すると、設置された位置に観測所のアイコンが表示されます。

位置図

資料-2-5



- ・洪水に特化した低コストの水位計（危機管理型水位計）を設置し、近隣住民の避難を支援
- ・川内川水系の県管理河川では、危機管理型水位計を3河川3箇所に設置。





# 主なソフト対策の内容(危機管理型水位計の設置)

## ■危機管理型水位計とは

革新的河川技術(管理)プロジェクトにより開発した、洪水時の観測に特化した水位計です。洪水時の観測に特化すること、携帯通信網を利用すること、汎用部品を活用することにより、大幅にコストダウン・サイズダウンを図ったものです。5年間無給電(電池等で稼働)、メンテナンスフリーが標準仕様となっています。



現場実証実験第一弾(鶴見川水系 烏山川)



現場実証実験第二弾※寒冷地仕様(最上川水系)

新たなIoT技術を活用し、安価で使いやすいシステムを開発

## クラウド 危機管理型水位計 運用システム

### 危機管理型 水位計

洪水時に  
観測開始

設定水位



インターネットで  
提供

### ユーザ

- 河川管理者
- 住民・市町村等
- マスコミ

そろそろ  
〇〇地区が  
浸水しそうだ!

近くの川の  
水位は...



## 川の水位情報 で検索

※令和元年6月1日からアクセスできます  
(<https://k.river.go.jp>)



川内川付近をアップ



水位を確認したい  
箇所アイコンをクリック

薩摩川内市、さつま町内の水位計は、6月5日より公開予定(設置が完了していない箇所は、設置後に公開されます)



確認したい箇所の水位を  
確認することができます。

スマートフォンでも確認できます

### ●提供画面イメージ



※開発時の画面イメージであり変更される可能性があります

堤防高さからの水位表示も確認できます(場所によっては未表示箇所もあり)

